



第112期 中間報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



(証券コード 7240)

NOK株式会社



取締役会長
取締役社長

鶴 正 登

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

ここに、当社グループの第112期上期（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の中間報告書をお届け申しあげ、当上期の業績につきご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申しあげます。

当社グループは、経営の基本として「技術に裏打ちされた独自性ある、かつ社会に有用な商品を生産し、世界中で安くつくり適正価格で売る」ことにより高い収益力を持つ強い企業集団をつくりあげることが重要と考え、この考えに基づき事業経営を展開しております。

当上期の当社グループを取り巻く経営環境については、国内においては、公共投資等の経済対策効果や設備投資の増加基調により、景気は緩やかな回復局面が継続しております。海外においては、米国では景気は堅調さを維持していますが、中国は景気の減速が一服しているものの、一方では先行きに不透明感が始めている。

こうした状況の下、当社グループは将来を見据えて持続的に成長発展していけるよう、各種施策を推進してまいりました。

当上期の連結業績といたしましては、売上高は3,574億2百万円（前年同期対比6.7%の増収）、営業利益は200億9千8百万円（前年同期対比77.4%の増益）、経常利益は265億9千8百万円（前年同期対比175.7%の増益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は162億4千8百万円（前年同期対比246.1%の増益）となりました。

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、国内は引き続き緩やかな回復が続けていくとみられますが、中国

経済の成長鈍化等による先行き不透明感等により、世界経済は予断を許さない状況であります。

シール事業では、国内および中国での日系自動車の需要は好調が見込まれるため、日系自動車の生産台数は堅調に推移するものと想定されます。その中で、海外の競合他社との競争激化が見込まれるため、営業・生産・技術一体となり、拡販の推進、最適地生産による生産体制の効率化に取り組むとともに、品質の向上についても引き続き取り組んでまいります。

電子部品事業では、自動車の電子化に伴い、自動車向けの需要が増加しております。また、ハードディスクドライブ、高機能スマートフォン向けも堅調な推移となるものと想定されます。その一方で、競争激化による製品価格の下落や、季節的な需要変動の拡大等が課題となっております。これらに対応するべく、生産工程の自動化による生産体制の効率化、および自動車用途の更なる拡大に取り組んでまいります。

ロール事業では、事務機市場の成長鈍化、および競争激化による製品価格の下落により、販売の減少が想定されます。これらに対応するべく、営業・技術一体による競争力の向上により拡販を図るとともに、経営効率をより一層高めて収益力の向上を図ってまいります。

これらの施策を着実に実行して、持続的な成長を目指し、全グループ一丸となって邁進してゆく所存であります。

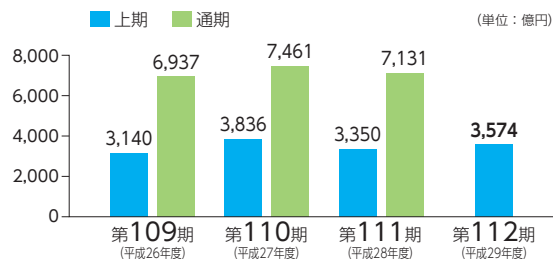
なお、当期の中間配当金につきましては、1株につき25円とすることいたしました。

以上、当社といたしましては、今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、鋭意努力してまいります所存であります。

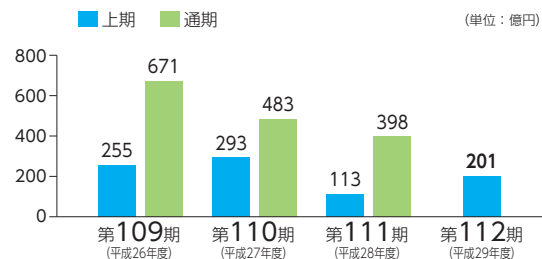
株主の皆様におかれましては、当社グループを取り巻く環境と経営の方向、さらには私どもの決意の程に深くご理解をいただき、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成29年12月

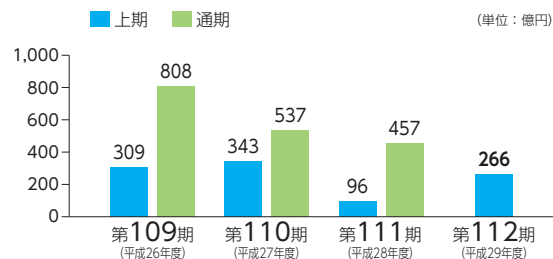
売上高



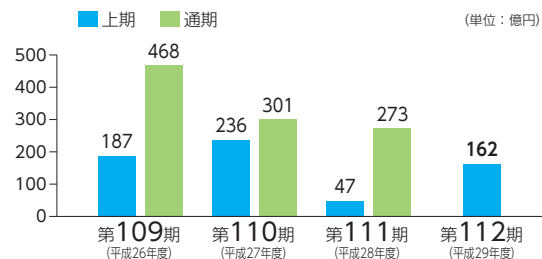
営業利益



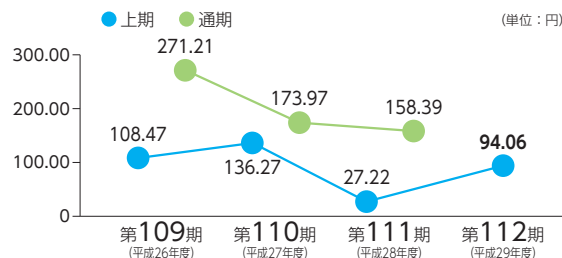
経常利益



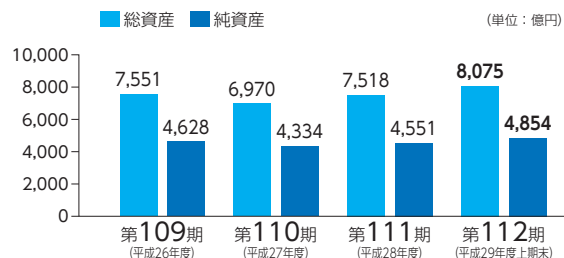
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



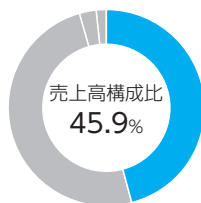
1株当たり上期(当期)純利益



総資産／純資産



(注) 財務ハイライト (連結) に記載の金額は、表示単位未満を四捨五入しております。



シール事業

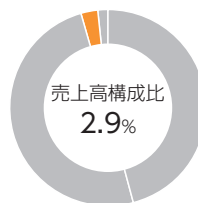
売上高	1,639億81百万円
前年同期対比	10.0% ↑
営業利益	191億22百万円
前年同期対比	21.7% ↑

自動車向けについては、国内での需要は好調に推移し、加えて中国での日系自動車の需要も好調であったことを受けて、販売は増加しました。一般産業機械向けについては、中国を中心とした建設機械の需要が引き続き好調に推移したことにより、販売は増加しました。

その結果、売上高は1,639億8千1百万円（前年同期対比10.0%の増収）となりました。営業利益は、増収により、191億2千2百万円（前年同期対比21.7%の増益）となりました。



オイルシール



ロール事業

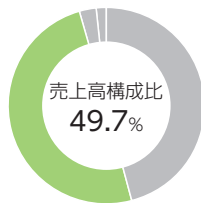
売上高	104億83百万円
前年同期対比	11.4% ↑
営業損失	8百万円
前年同期は5億9千1百万円の営業利益	

高機能複合機の在庫調整の影響により販売は減少しました。

その結果、売上高は104億8千3百万円（前年同期対比11.4%の減収）となりました。営業損失は、減収により、8百万円（前年同期は5億9千1百万円の営業利益）となりました。



現像ロール・帯電ロール



電子部品事業

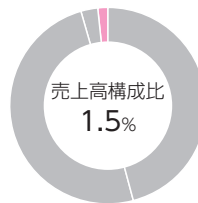
売上高	1,775億79百万円
前年同期対比	6.2% ↑
営業利益	3億11百万円
前年同期は55億6千万円の営業損失	

自動車の電子化に伴い、自動車向けの需要が増加しました。また、ハードディスクドライブ、高機能スマートフォン向けも堅調な推移となり、合わせて為替の影響から、販売は増加しました。

その結果、売上高は1,775億7千9百万円（前年同期対比6.2%の増収）となりました。営業利益は、原価低減、人件費・経費の削減、歩留り改善により、3億1千1百万円（前年同期は55億6千万円の営業損失）となりました。



フレキシブルサーキット（FPC）



その他事業

売上高	53億58百万円
前年同期対比	22.2% ↑
営業利益	6億24百万円
前年同期対比	18.8% ↑

特殊潤滑剤等のその他事業では、売上高は53億5千8百万円（前年同期対比22.2%の増収）となりました。営業利益は、品目構成の良化により、6億2千4百万円（前年同期対比18.8%の増益）となりました。



特殊潤滑剤

NOKグループ3カ年計画

当社グループでは、平成29年4月から平成32年3月までを期間とする「3カ年計画」を策定し実行しております。

拡販と新商品の開発による顧客構成の最適化、品質の更なる向上・安定やBCMの構築、ならびにこれらを担う人材の育成に力を入れ、将来を見据えて当社グループが持続的に成長発展していける企業体質を構築するよう、下記方針に基づき、全社一丸となって邁進、努力してまいります。

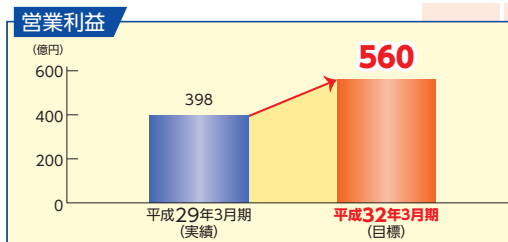
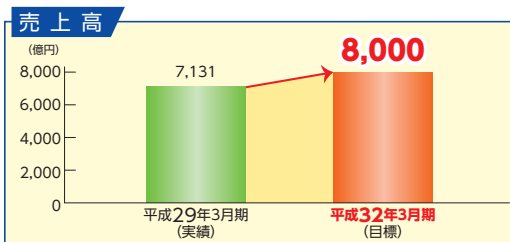
スローガン

「持続性ある企業体質の構築」

方針

1. バランスのとれた顧客構成の構築 ー 拡販と新商品の開発による拡大均衡を目指して
2. ダントツ品質の定着
3. 実効性あるBCMの構築
4. 人間尊重経営の実践 ー 活力に溢れた人づくり、職場づくり

目標経営 数値



※上記の将来の業績に関する目標経営数値は公表時点でのリスク要因を織り込んでおりますが、実際の業績は国内外の経済情勢、市況、為替の動向等により異なる結果となり得ることをご承知おきください。

セグメント別の 取組み

シール事業

能力増強や自動化による競争力ある生産体制の構築に取り組むとともに、新商品開発力の強化や、中国等海外での現地顧客への拡販を図ってまいります。

電子部品事業

省人・自動化や業務の生産性向上等による収益体質の強化、スマートフォン向けの中国・韓国等海外現地顧客への拡販、自動車向けビジネス拡大の加速等を進めてまいります。

ロール事業

生産品質（品質・価格・納期）を確保して顧客の信頼に応え、当社グループのシナジーを発揮し営業・生産・技術一体となって利益体質の向上に取り組むとともに、拡販の推進を図ってまいります。

会社概要

(平成29年9月30日現在)

商 号	NOK株式会社
	(英文 NOK CORPORATION)
本 社 所 在 地	〒105-8585 東京都港区芝大門1丁目12番15号
電 話	03 (3432) 4211
ホームページアドレス	http://www.nok.co.jp
設 立	昭和14年12月2日
資 本 金	23,335百万円
従 業 員 数	3,267名 (当社グループの従業員数：42,327名)
主要な事業所	
支 店	仙台、水戸、宇都宮、熊谷、東京、松本、多摩、神奈川、富士、浜松、安城第一、安城第二、名古屋、大阪第一、大阪第二、広島、福岡
事業場	福島、二本松、北茨城、静岡、鳥取、熊本
研究所	湘南開発センター (藤沢)、東海膜開発センター (東海)

取締役・監査役および執行役員

(平成29年9月30日現在)

取締役	監査役
取締役会長 鶴 正 登	常勤監査役 藤 井 雅 信
取締役社長 土 居 清 志	常勤監査役 森 良 次
専務取締役 飯 田 二 郎	監査役(社外) 小 林 修 樹
専務取締役 黒 木 安 彦	監査役(社外) 小 川 秀 篤
専務取締役 渡 邊 哲 二	監査役(社外) 梶 谷 篤
専務取締役 長 澤 晋 治	
取締役 鶴 鉄 文	
取締役 小 林 俊 作	
取締役(社外) 法 眼 健 誠	
取締役(社外) 藤 岡 誠	
執行役員	
常務執行役員 沢 木 新 一	執行役員 大 橋 一 寛
常務執行役員 矢 野 武 臣	執行役員 山 下 博 史
常務執行役員 中 村 哲 也	執行役員 柳 本 剛
常務執行役員 黒 木 雄 一	執行役員 樋 本 章 治
常務執行役員 藤 本 和 彦	執行役員 小 林 正 信
常務執行役員 菅 谷 良 裕	執行役員 中 山 富 雄
常務執行役員 高 橋 則 幸	執行役員 折 田 純 一
執行役員 土 屋 篤 信	執行役員 鶴 正 雄 浩
執行役員 山 崎 幸 夫	執行役員 鎌 田 浩

主要なグループ会社

シール事業

【主要製品】
オイルシール
Oリング
防振ゴム
樹脂加工品
ガasket
化学合成品
メカニカルシール

ユニマテック株式会社 (茨城県北茨城市)
NOKエラストマー株式会社 (福岡県嘉麻市)
フガク工機株式会社 (静岡県菊川市)
佐賀シール工業株式会社 (佐賀県嬉野市)
タイNOK Co.,Ltd. (タイ チョンブリー県)
無錫NOKフロイデンベルグ Co.,Ltd. (中国 江蘇省無錫市)
NOKアジア Co.,Pte.Ltd. (シンガポール)
関西NOK販売株式会社 (大阪府大阪市)
NOKフロイデンベルググループセールスチャイナCo.,Ltd. (中国 上海市)

電子部品事業

【主要製品】
フレキシブルサーキット
プレジジョンコンポーネント

日本メクトロン株式会社 (東京都港区)
メクテック Corp. 台湾 (台湾 高雄市)
メクテックマニファクチャリングCorp.タイLtd. (タイ アユタヤ県)
メクテックマニファクチャリングCorp.珠海Ltd. (中国 広東省珠海市)
メクテックマニファクチャリングCorp.蘇州Ltd. (中国 江蘇省蘇州市)
メクテックプレジジョンコンポーネント タイ Ltd. (タイ アユタヤ県)
メクテック Corp. 香港 Ltd. (中国 香港)

ロール事業

【主要製品】
事務機用ロール製品

シンジータック株式会社 (神奈川県横浜須賀市)
久喜ロール工業株式会社 (埼玉県久喜市)
シンジータックベトナムCo.,Ltd. (ベトナム ハイフォン市)
シンジータック香港 Co.,Ltd. (中国 香港)

その他事業

【主要製品】
特殊潤滑剤
その他

NOKクリューバー株式会社 (茨城県北茨城市)

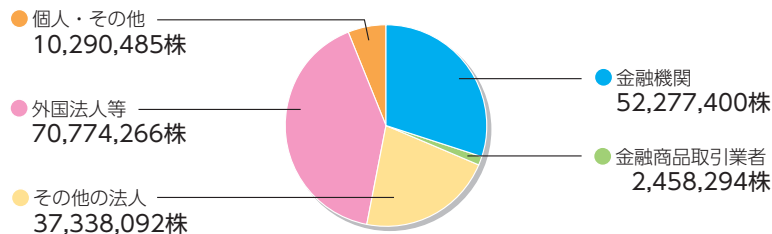
株式の状況

(平成29年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 600,000,000株
- 発行済株式の総数 173,138,537株
- 株主数 8,163名
- 大株主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
フロイデンベルグ・エス・エー	43,457	25.1
正和地所株式会社	8,773	5.1
第一生命保険株式会社	8,000	4.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	7,805	4.5
トヨタ自動車株式会社	6,809	3.9
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,577	2.6
全国共済農業協同組合連合会	4,430	2.6
株式会社三井住友銀行	4,270	2.5
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,571	2.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	3,000	1.7

所有者別株式数



事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主 確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先（注）	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711（通話料無料） 郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nok.co.jp (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
単元株式数	100株
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部 略称：NOK（コード7240）

(注) 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日付にて上記のとおり変更しております。

ホームページのご案内

当社の決算情報をはじめ、当社をより理解していただくためのさまざまな情報を掲載しております。

<http://www.nok.co.jp/ir/>

NOK IR

検索

トップページ



IR情報



【お知らせ】

1. 住所変更等のお手続きについて

- (1) 株主様の住所変更等各種お手続きにつきましては、株主様が口座を開設された口座管理機関（証券会社等）で承ります。お手続きの詳細につきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください（株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください）。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

2. 単元未満株式の買取ご請求について

株主様が所有されている単元未満株式（100株未満の株式）につきましては、証券市場での売買ができない等制約がございます。単元未満株式は、当社に対し時価で売却（買取請求）できますので、ご希望の株主様は次の通りお問い合わせください。

- (1) 証券会社等の口座に記録された単元未満株式の買取請求手続き・手数料等の詳細につきましては、お取引のある証券会社等にお問い合わせください。
- (2) 特別口座に記録された単元未満株式は、当社所定の手続きにより時価で売却（手数料無料）することができます。お手続きの詳細につきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

3. 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

4. 株式に関するマイナンバー制度のご案内

市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係手続きで必要となります。このため、株主様からマイナンバーをお届出いただく必要がございます（お問い合わせ先は「1. 住所変更等のお手続きについて」と同様になります）。